

～向島ニュータウン再生・向島地域の活性化～
「人の力で、まちはかえられる」

向島ニュータウン まちづくり通信 第4号

平成 28 年 11 月 24 日発行

中文版，請看下面的網址。 <http://www.city.kyoto.lg.jp/tokei/page/0000199646.html>

向島ニュータウンまちづくりビジョン 第3回検討会が開催されました！

11月11日（金）に向島学生センターセミナーハウスにて、第3回検討会を開催。検討委員26名の出席のもと、活発な議論が交わされました。

まちづくりビジョン案検討資料が提示され、ビジョン策定に向けて具体的な議論が行われました。その一部を紹介します。

ビジョンに書かれた取組を実現する主体や担い手についての問題意識が多く出されました。

○住民主体、地域で運営をしていく、そのことを支えていくこと、行政とパートナーシップを組むということなどをビジョンに記載すべき。

○各々の取組の担い手、行政や住民の役割についてもできる限り踏み込んで具体的にビジョンに書いておきたい。

OWGで議論を重ねるとともに「話し合う集い」を2回開催するなど、きめ細やかに進められており、充実した検討会となっている。住民に関心をもってもらえるよう、引き続き努めていきたい。



ビジョンにおいて重視すべき課題や取組についても意見交換がなされました。

○空き家は資源でもあるが、喫緊に対策をしなければならぬ課題として捉えるべき。

空き家の活用については、新しい手法を積極的に採用していったほしい。例えば大学（生）に安価で貸す代わりに自治会活動や見守り活動を義務付けるなどすれば、地域活動の担い手にもなってくれる。

○中国帰国者とそれ以外の住民との交流についての取組の記載が必要。

○それぞれの項目について、行政がやるものもあれば住民や地域の団体がやるものもある。これを明記しておく必要があり、このための議論を早急に行う必要がある。

○向島の様々な課題を解決するポイントになる重点取組を整理して記載すべき。例えば、自治組織の機能強化と行政とのパートナーシップ、跡地活用など。

今後のWG開催予定 向島地域の方であれば、どなたでもご参加いただけます

地域コミュニティ活性化・地域情報化・エリアマネジメントWG	11月25日（金） 10：00～12：00	向島学生センター セミナーハウス2階会議室
商店街等活性化・交通問題WG	11月25日（金） 18：30～20：30	京都文教マイタウン向島（MJ）
子育て充実WG	平成29年1月15日（日） 10：00～12：00	城南児童館 （子どもも一緒にどうぞ）
地域防災・防犯WG	平成29年1月15日（日） 14：00～16：00	京都文教マイタウン向島（MJ）
すまいと共用部改善WG、高齢者・障がい者暮らし安心WG、多文化共生・歴史文化WG（歴史文化部会）、多文化共生・歴史文化WG（中国帰国者福祉部会）		平成29年1月以降開催予定

以後の予定は今後、随時各住棟の掲示板などにもお知らせをしていく予定です。

まちづくりビジョン検討状況のお知らせとご意見募集について

まちづくりビジョンの検討状況概要について、住民のみなさんに以下のとおり、お知らせを行う予定です。

お知らせ・ご意見募集の時期
平成28年12月中旬頃～
翌年1月上旬頃

全戸配布または回覧・掲示等によりお知らせする予定です。

第2回「向島ニュータウンのこれからを話し合う集い」が開催されました！

10月29日（土）に二の丸北小学校体育館にて、住民や各種団体から約100名が参加し、これまでテーマごとに各ワーキンググループで議論してきた内容を共有するとともに、ビジョンの柱となるテーマに分かれて話し合いを行いましたので、その内容の一部をお知らせします。

これまでのワーキンググループでの議論内容や参加者の思いを共有

前半はビジョンの大きな柱となる「命を大切にする」、「若い世代が住みたいまち」をテーマに8つのグループに分かれ、これまで話されてきたことを共有、大切にしたいことを確認しました。

大きな問題である「空き家」について、災害時の避難場所や若い世代の住まい等への活用も含めて具体化していく必要があること、困難を抱える子どもや高齢者、中国帰国者や障がい者への支援をより一層充実させていくため、住民の活動をつないだり、サポートできる仕組みづくりを進めていくこと等が共通して話されました。



具体的な7つのテーマで、取組を検討

後半は前半の話し合いを受け、7つのテーマでグループに分かれ、向島にある資源を行かしてビジョン実現にむけて取り組めること・アイデアについて話し合いました。その一部を紹介します。

「人をつなげる共生コミュニティ」、 「住み続けるために必要な交通・移動手段」

コミュニティの中心である街区内の集会所の活用をうまくすすめたい。例えば、ひきこもりがちな人でも健康など相談できるような「まちの保健室」のような場にしてはどうか。

誰もが暮らしやすいまちにするためには、まち全体でバリアフリーをもっと進める必要がある。

ニュータウンの外への交通機関（バスや近鉄電車）の充実も必要だが、ニュータウン内を買い物や通院で移動することが困難になっている高齢者も増えているので、中を細やかに移動できる手段も必要。

「新しい商業・観光・PR」

商店街に人が集まるしかけとして「スタジオ」をつくってはどうか。いろいろな教室などスケジュールを立ててお知らせすることで、人が集まる楽しい場にする。

向島城や巨椋池などを紹介するマップづくりなど向島の歴史の活用や、周辺農地を背景としたアグリツーリズムを進めていったらどうか。

「いのちを守る防災」

防災のためには日頃のコミュニケーションが重要なので、「要配慮者など防災関係のアンケートで住民同士がお互いを知るきっかけをつくる」などの具体的な取組を進めたい。中学生や障がい者が防災訓練に参加できる環境づくりや実践的訓練が必要。中国帰国者のみなさんとのコミュニケーションのために、通訳を交えた交流の機会や日本人も基礎的な中国語を学ぶ場をつくりたい。

「子育て支援・教育環境」

所得制限がある市営住宅が多い中で本当に子育て世代が住むことができるまちになるためには住宅政策の見直し、住宅の整備も重要。

小中一貫校についてはそのメリットを住民でも共有をしたい。また、跡地には多世代が交流し、集えるような場も作ってほしい。まずは活用について意見を言える、みんなで考える機会をつくってほしい。



インタビュー 「向島に暮らして」

このコーナーでは、向島に縁のある方たちに向島への思いを語っていただきます。

中嶋直己（なおき）さんは向島で生まれ、向島小学校と向島東中学校を卒業した、言わば生粋の向島っ子です。大学卒業後に数年東京で働いた後に家業を継ぎ、現在（株）中嶋農園代表取締役として農業に勤しんでおられます。

向島はどんなところ？

僕にとって向島は、良い農地があり、大消費地である京都に近いという、まさに農業に恵まれた場所だと思います。そういう意味で、向島が京都市の「食糧倉庫」の役割を担って米や野菜を生産するような、地産地消を実践する場としての可能性を感じています。



これからの向島に期待するところは？

人が多くなれば、まちは元気になるのではないのでしょうか。特に、若い人が多く暮らすようになれば親の世代が老いた時にも支えやすいと思うので、若い人の働く場所を増やしたいですね。

向島はベッドタウンと呼ばれていますが、もしも旧来のベッドタウンという仕組みに行き詰まりがあるならば、地域内に仕事があればいいのでは。僕の場合は農業で、若い人を雇用できるようにしていきたいです。色々な分野で働く場所が向島にできて、ニュータウンに住みたい人が現れることを期待します。



中嶋さんは、向島の人たちに地元の野菜を食べて喜んでもらえたらという思いで、野菜市を始めました。種智院大学の食堂で、毎月第1日曜日午前11時から午後3時まで開かれています。向島のみなさん、採れたて野菜を思い切りお楽しみください☆

株式会社 中嶋農園

伏見区向島鷹場町3番地2 TEL/FAX：075-632-8013
HP：http://nakajima-nougyou.com

向島にまつわるクイズ

問1 豊臣政権の時、巨椋池の上に通した街道の名前は何でしょう？ Quiz

問2 宇治川河川敷の向島ヨシ原のヨシを使って行われる祭りは何でしょう？ Quiz

①御香宮神社での神幸祭 ②三栖の炬火祭 ③鞍馬の火祭り

●クイズの答えは次のページにあります。



向島ニュータウン商店街にある「むかいしま健幸 DELI」にて「ヘルシー弁当」（700円＋税）をいただきました。この日の献立は大根や厚揚げなどの含め煮、肉じゃが、斗六豆の甘煮、キャベツの和え物、ごはん、お味噌汁。全部食べても500kcal 未満で塩分3g以下に抑えられているそう。

おかずを一つひとつ食べてみると、薄味なのになぜかしっかりした味。「塩味に頼らない食事ですが、だしの旨味を活かして味にメリハリをつけています」。毎日食べても



飽きない家庭の味を堪能しました♪ごちそうさまでした。

向島エリア内での配食サービスが基本ですが、ご近所の方はお店へ直接出かけてみてはいかがでしょうか。数に限りがあるので、事前予約がおすすめです。

むかいしま健幸 DELI 伏見区向島四ツ谷池14番地19 TEL：075-603-3345
弁当販売：11時半～13時頃 定休日：日、祝日

向島にまつわるクイズの答え

問1の
答え

大和街道

巨椋池の東側を通っていた大和街道は、豊臣秀吉によって巨椋池の上を通るように整備されました。これによって京から奈良への道が短縮されました。

Answer

問2の
答え

②三栖の炬火祭

三栖の炬火祭は、御香宮神社の神幸祭と同じ10月上旬に行われ、向島のヨシを使った長さ5～6m、直径1.2m、重さ800kg～1tの松明を灯して担がれ、地域を巡行します。

Answer

発行：向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会

事務局：京都市都市計画局都市企画部都市総務課 担当：菱田、平岡、筱(しの)

電話：075-222-3610 ファックス：075-222-3689 メール：toshisomu@city.kyoto.lg.jp

検討会の情報・WG開催情報などは 向島ニュータウンのまちづくり 検索

